



ホームページ「Chiaki, s home」

独り言

2006 年

江見千秋



表紙の「独り言」の書は、

「書道村」主宰の

川戸翠紫先生に書いていただきました。

新しい年を迎えて・・・

2006.1.10

明けましておめでとうございますー

お蔭様で、健康で新年を迎えることができました。

今年もよろしくお願いいたします。

今年の元日も、例年通り、二宮海岸に初日の出を迎えに行つたが、残念ながら初日の出は雲の向こうでした。

雲の向こうに、真つ赤な初日の出を想像しながら初詣に行き、「**今年も健康でありますようにー**」とお願いをして帰宅し、年末に搗いたお餅のお雑煮で新年を祝いました。

2日は、例年であれば「箱根駅伝」の観戦に出かけるのですが、これまた残念なことに小雨模様だったので、自宅でTV観戦になってしまいました。

TV観戦をしながら、子どもの頃の正月行事などを思い浮かべていたのですが、それらの記憶を辿るのは、TV観戦に似ていることに気がつきました・・・

というのは、「箱根駅伝」の中継はカメラ撮影の移動車、ところどころの定点カメラなどの画像をスイッチ切替をしているので、通しての詳細な記録は見られず、自分の頭で加工しているところがあるのです。

昔の記憶を思い出す場合でも、頭に浮かぶのは断片的なもの

が多く、前後関係や詳しいことは、頭に浮かんだことを中心に、自分の頭でストーリーを作っていることが多いように思うのです。

僕が育った年代は、**小学校**に入学、途中**国民学校**、卒業は**小**
学校：…とにかく変化の多い時代でした。

環境も、手で苗を植える田植え、山での薪取り、柿は木の上で食べるのが常識、空襲を想定しての塹壕掘り・・・等々、今では、断片的なイメージしか思い出せないことが多々あるのです。しかし、断片的・スポット的でもよいから、記録に残したいと思うようになりました。

今年は、こんなことを思ったのを機会に、キーワード的にで

も、自分の経験したことを記録にとどめたいと思っております。
どんなことになりますやら・・・

また一年頑張ります・・・

これからも、今まで同様、**Chalk's home**を「愛顧」いただきますようお願いいたします。



自分達だけよければ……でいいのだろうか？ 2006.1.25

最近、芳しくない話題が多くなっている。

「耐震強度偽装」「ライブドア事件」「米産牛肉輸入」などなど……

これらはどれも「**自分達だけよければ……**」「**自分達だけ儲ければ……**」といった身勝手な行動の現われである。

「耐震強度偽装」「米産牛肉輸入」……見つからなければ安全性を犠牲にしても、自分達だけが儲ければ……

「ライブドア事件」……都合の悪いところは黙っておこう！自分達だけが儲ければ……

「**自分が大事！**」と思うのは誰でもだと思っただが、決めら

れたこと、約束したことを黙認しながら「**自分達だけよければ……**」ということはいただけない。

さらに、それらをチェックすべき組織がありながら、チェック機能が働いていない……困ったことである。

世の中「持ちつ持たれつ！」ということがあるが、「**自分達だけよければ……**」と考える者同士が、そう考えているとすれば、とんでもないことである。

何か事件が起これば、「法律がどうのこうの……」という話が出てくる……法律は「**自分達だけよければ……**」といった者を諫めるためにあるのだと思うが、諫める者にその気が無ければ、法律も絵に描いた餅である。

一方、法律がまだ無いから・・・というのもおかしい！
「自分達だけよければ・・・」ということ、チヨット横において、
「他人に迷惑を掛けない！」ことを考えれば、必ずしも法律が
不十分でも、世の中巧く行き、芳しくない話題は少なくとも、
毎日のTV、新聞をニコニコしながら見る事ができると思う
のですが・・・



ライブカメラが面白い！

2006. 2. 10

このページの最後にのせている「**こんなホームページがありました！**」でも紹介しております、インターネットを利用した**ライブカメラが面白い！**

今年は、特に雪が多い・・・僕の実家に近い「道の駅」のライブカメラで、田舎の様子を心配しながら見ることができるのです。

今日は降っていない・・・今日はすごい・・・と、600km離れた所から今の様子が見えるのです。

気になる田舎の様子だけでなく、各地の道路の今の様子、観

光地の今の様子・・・現在では、世界中の今の様子が自宅に居ながらにして見えるのです・・・だから、**ライブカメラが面白い！**

中でも、次のアドレスで見られる「**お猿さんの温泉入浴**」は楽しみの一つです。

<http://www.jigokudani-yaenkoen.co.jp/livecam/monkey/index.htm>
一度アクセスしてみてください。何匹入っているか？・・・僕も友人に教えて貰ってからすっかり虜になっています。

とにかく**ライブカメラは面白い！**・・・これからも、野次馬根性を補う道具としておいに利用したいと思っています。



むかし遊び名人???

2006. 2. 25

過日、町内の小学校の1年生を対象とした「**むかし遊び**」の催しに、**むかし遊び名人**として出かけ、子ども達と楽しい一時を持ちました。

「**むかし遊び名人**」の名人は名ばかりで、単に「**むかし子ども**」だっただけなのですが・・・

遊びには「ケン玉」「おはじき」「ブンブンこま」「紙トンボ」「あやとり」・・・などなど8コーナーがあり、子ども達は10分ごとにやってきて遊ぶのです。

僕は、「ブンブンこま」「紙トンボ」を担当し、**むかし子ども**

もに**名人**と煽てられながら**いま子ども**にタイムスリップして楽しみました。

その時感じたことですが・・・

「ブンブンごま」、「紙トンボ」のひな形である「竹とんぼ」などを子ども達は知っていました。家に持っている子もいました。

しかし、これらは買ってもらったもので、自分で作ったものは無いようでした。それで遊んだ様子もあまりないようで、買ってもらった・・・で満足してしまったのかもしれない。

むかし子どもは、このような遊びは、おじいちゃん・おばあちゃん・隣のおじちゃん・おばちゃん、少し大きくなると先輩達に教わり、自分で作ったものです。また、後輩に「こうするん

だ！・・・」と教えたものです。

しかし、今を見ると、残念ながらこのような風景に出くわすことが少なくなっています。

学校の授業の一つとして教わったことは無かったと思います。

3世帯住んでいる家は少なく、先輩と遊ぶ機会もほとんど見受けられません。

いま子どもは可哀相だな〜〜〜と思います。

まあ、このような機会をできるだけ持ち、楽しい遊びを絶やさないように**むかし子ども**は頑張りたいと思っています。

さらに嬉しいことがありました・・・

「かみとんぼぶんぶんゴマ名人へ」という、子ども達が一生懸命書いた札状が、先生の写した写真を表紙に貼った冊子として

手元に届きました。
こちらこそ、「有難う！」です。



聞いたのは何？・・・

2006.3.15

あるパソコン講習会の講師を務めた時、次のような質問を受けました・・・

「講習会を受けている時は、解った・・・できた・・・と思うのですが、家に帰ると忘れている・・・忘れないコツはなんですか？」

このことは、常日頃自分自身も知りたいとも思っていることなので、答えるのにハタと困った・・・

一時考え、次のように答えたのです・・・

「自分も知りたい質問ですが・・・

まず、間違ってもよいから、自分でやってみてください。

そうすると、意図しないことが起こるかもしれませんが、意図した通りになると、シメシメ・・・となり、思い出したことになりもう安心です。

意図した通りにならなかったら、如何したかを振り返ってください。そして、テキストを見るなり、人に聞くなりしてください。とにかく、自分でやって、何処で失敗したかを知ることができます。」と・・・

「講習会は、明るい時の道を、案内されながら歩いているのです。

家でやるのは、同じ道でも夜暗闇を自分ひとりで歩いているのと同じだと思うのです。したがって、途中で小石に卦躓くことがあると思います。転んで、痛い！と思ったら、小石があつたことを知り、次には卦躓くことなく通ることができると思うの

です。」・・・とも付け加えました。

質問された方、その他の方も頷かれていたので、気持ちには伝わったのではないかと思いました。

とにかく、**試す！失敗する！反省する！再度試す！**が物事を覚える秘訣と知っているのですが・・・

というものの僕も、「忘れないコツ！」を教えていただきました
一人です。良い方法を教えてください！

パソコンを共に楽しむ古稀の梅



春！

2006.4.1

春！……小さい野の花や梅に始まり、白い雪柳、黄色のレンギョウそしてさくら……「寒い寒い！」と言っている間に春一色になりました。

人が、例年より「早い！遅い！」と言っているうちに、生物は自分で冬眠から目を覚まし、春を迎えたのです。

「早い！遅い！」というのは、我々人間で、花達は自分の目覚める時をチャント計算して、目覚めてきているようです。

我々も、春は歓迎です……特に、色とりどりの花や新芽を迎える季節は、他人（花や新芽）の力を借りることになるかもしれないが、最高の季節です。

人は、環境に左右され易い生物のようで、さくらが咲くのが、例年より「早い！遅い！」とメディアが報じるのに、「そうか……」と納得しており、自分で季節を感じ取るような気持ちには少なくなっているようにも思われる。

まあ、こんなことはどうでもよく、とにかく自然の恵みを素直に満喫しましょう！

「いい季節！」と言っているうちに、すぐ暑い夏がやってきます。

とにかく、何時の季節でも、あまり「早い！遅い！」を気にしないで、自然と仲良く過ごしたいものです。



Chiaki's home も、皆さんのご愛顧をいただきながら、**満8歳**になりました。

8年前、田舎で両親のケアも終わり、何か刺激が欲しいと始めたのが、この **Chiaki's home** ホームページでした。

最初は、MAC で、タグ文で書き出したものです。

コンテンツも、話す相手も少なかったので「**独り言**」や趣味の**作品**、身近な**町の紹介**を主にしていました。

その後、ホームページの作成ツール(ソフトウェア)も入手し、使うパソコンも Windows に変更したのですが、TOP ページの構

成はほとんど変わっておりません。

少しづつ新設していったサブページも、フォローが追い付かず、内容に新鮮味が無くなってきました。

今では、思いつくままの「**独り言**」と、このホームページと競わせている「**作品**」の紹介でもたせている状況です。「**町の紹介**」もできるだけ取り入れたいのですが、催しも恒例化し、残念ながら取材意欲も薄れてきております。

やはり、物ごと8年も続けると、相当マンネリ化してしまいます。

何か変化を・・・と思うのですが、やはり脳味噌が固まりかけているのか新鮮なアイデアが浮かびません。

こう言ってしまうと、元も子もなくなってしまう・・・「9歳

の誕生日を迎えるまでにはなんとかしなくては！」というのが今の気持ちです。

皆さんのご愛顧をいただきながら、頑張りたいとおもっておりますので、もう少し我慢していただきたくお願いいたします。



情報が多すぎる!?

2006.5.1

世の中、**情報化時代!**というのが、あまりにも多すぎる・・・
超々過多!である。

TV、新聞など各種メディアで、日夜をとわず報じられる情報・・・ダイレクトメールなどで送りつけられる情報・・・とにかく多すぎる!

インターネットなどでの検索手法もドンドン進歩しているが、怒涛のように押し寄せる情報に、どう対処すればよいのか?・・・お手上げの体である。

だんだん硬直化してくるはず脳味噌が、渦巻く情報に巻き込

まれ、逆に軟化状態になり沸騰気味である。

自分が興味ある情報が目の前にあっても、怒涛に巻き込まれ、なかなか取り出せないでいる。

参考になる情報を習得し、自分の知力アップをと思うのだが、面倒になり、つい自分勝手な考えで進めてしまい、進歩無くどうどう巡りをしているこの頃です。

さらに、各種メディアで報じられている大半は悪いことであり、それも重箱の隅を突つくようなことが多く、悪事を手引きしているのではないかと疑いたくなるようなものもある。困ったものである！

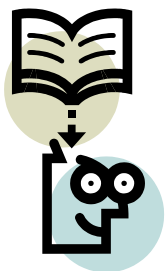
世の中、悪いことと同じくらいは、良いこと・楽しいこともあるはずである・・・。

まあ、ぼやいていても気が滅入るだけなので、**的確なキーワード**を考え、進歩するインターネットの検索で自分の興味ある情報に到着し、自分の知力アップや楽しみに引き込みたいものである。

言うは易しく、行なうは難しい・・・ことは解っているが、出来ることからボツボツと進めよう・・・と思う。

一歩前進二歩後退・・・も仕方ないかな！

その前に、自分の欲しい情報は何かを、再度考えることが必要なようです・・・。



教科書

2006. 6. 1

5月28日の朝日新聞朝刊のコラム「あんてな」に、高橋庄太郎氏が「歴史に根ざした教科書への信頼」という文を投稿されていました。

これは、教科書の記述ミスに関するものでしたが、その中に戦後の教育界で流行した言葉として「**教科書を教えるのではなく、教科書で教える**」が紹介されていました。

内容的には外れますが、自分がボランテニアとしてパソコン講習会などに参加し、講師を務める時のことを思い浮かべました。

「**教科書を教えるのではなく、教科書で教える**」・・・

右向け右の教育あるいは受験勉強的にであれば、「**教科書を教える**」でいいかも知れませんが、生活の知恵的に物事を習得させるために教えるには「**教科書で教える**」ことが必要と思うのです。

各人が覚えるのは、教科書の内容でなく、それぞれの人が自分のやりたいことを達成するためにいろいろなことを習得しようとしているからです。

したがって、自分が疑問に思ったり、如何すれば巧く行くのかを知りたいときに教科書を見ればいいと思うのです。

教科書はヒントを与えてくれる道具だと思うのです。

教科書に誤記があるのはもつての外ですが、誤記を探すのも

脳味噌を活性化するのに役立つようにも思います。

自分としては、これからも「**教科書を教えるのではなく、教科書で教える**」を実践していきたいと思います。



ワールドカップ

2006. 6. 15

ただいま、**サッカーのワールドカップドイツ大会**の真っ只中であり、連日連夜新聞・TVはトップでその様子を報じている。

過日のオーストラリア戦で、日本は残念ながら土壇場の逆転で敗退した・・・がっかりである。

この大会は、国を挙げての戦の様相が強く、大会会場のみならず、地元でのサポーターの応援もすごいものである。数万、10数万の人々が繰り出し、街を代表チームのカラー一色で染めているほどである。

僕だけかもしれないが、ここでちよつと不思議に思うことがあるのです・・・

それは、これだけ国を挙げての戦いであり、選手たちは世界各地で活躍しているチームから自分の国のチームに帰属し国旗を胸に戦っているのであるが、それを指揮している監督は外国人で、通訳を介して指示を出し、記者会見していることである。FIFAの規則は理解していないが、なぜ監督は自国籍でなくもいいのだろうか？

クラブチームと違い、国を代表する選手を送り出し、多くのサポーターが自国のチームを応援しているのだから、それを**指揮する監督も自国出身であるべき**と思うのです。

自国には優秀な監督がいない・・・そうは思わないし、もしそうであつてもこのような状況ではどこまでが国対国の戦いといつていいのか少し疑問に思うのです・・・

監督の力量不足で敗退するなら、その国自体の実力がまだ足りないのだと思い、より強い体制を作り上げる必要があるように思うのです。



物事を理解するには、順番は別として「見る・試す・考える」あるいは「考える・見る・試す」ことが大切なことは言うまでもないと思うのですが、最近考えることが少なくなっているようです。

下の「TOWN」のコーナーで紹介した、**移動科学教室**に参加して思ったのですが・・・
目新しいことに対して、子ども達の興味は旺盛で、とにかく自分も「やりたい!」との意気込みはすごく、とにかく目の前のものに手を出す。これは、大変良いことと思う・・・
ただ、少し気になったのは、目の前のものに気が向き**見る(聞く)**

ことが疎かになっているようです。
さらに、気になったのは**考える**様子が少なかったことです。

世の中あまりにも事件的な情報が多く、じっくり**見る(聞く)**余裕がない・・・当然**考える**余裕もないと言った風潮がこんなところにまで影響しているように思われます。

子どもは親の背を見て育つ!・・・とよく言われるが、子ども達に**考える**習慣をつけさせる付けさせるためには、大人がバタバタせず**考える**習慣を持つ必要があるのではないだろうか・・・

物事全てについては当然無理ですが、自分が気になったこと

1つ2つについては、自分で「どうしてそうなんだろう?」「なぜそんなことが起きるのだろう?」「・・・なぜ?なぜ?なぜ?・・・」と考える習慣をつけたいものです。



夏の夕方の一時・・・

2006.7.15

梅雨はまだ明けないが、蒸し暑い日が続いている・・・時に、なんとも逃れないような暑い日がある。

サラリーマンを卒業し10年余りが経過し、ボランティア活動を主にして過ごす日もなんとなく身についたこのごろです。暑さとしこのような生活は、特に関係ないようですが、夕方の過ごし方が少し違っているようです・・・

それは、サラリーマン時代は味わえなかった一時を味わえるようになったことである。

ボランティア活動は主に午前中または遅くても日の高いう

ちに終わるように予定をくみ、サラリーマン時代は腹を空かして残業に取り掛かる頃には、今では夕食も終え、晩酌の時間になるようにしている・・・

日中の暑さも少し緩みかけた夕方、オンザロックを片手に、狭いながらも我が庭の雑草の中に置いたデッキチェアに寝そべって晩酌の続きをするのは、サラリーマン時代は味わえなかった一時です。

特に、まだ青い空に浮んだ雲を眺めながらの一時は、次は何をしようか？・・・あれはどうしたらいいかな？・・・などを頭に浮かべるのには最も良い時間です。

実は、この「独り言」も、更新が必要だが何を呟こうかな？・・・と、空を眺めながら考えていた時に思いついたものです。

とにかく、今日の仕事も終わった・・・明日は何をしようか？・・・と脳味噌をアルコールで洗いながら思うのは、最高の癒しにも分かりません。

こんな日が何時までも続くことを願って、再度コップを片手に庭に出ることにします。



夏！

2006.8.1

各地に大雨をもたらした梅雨もやっと明けたようで、いよいよ夏！が来た！・・・です。
雨の被害に会われた方々へ、お見舞い申し上げます！

毎年やってくる夏！ですが、自分の子供の頃とんだかわわってきているように感じます。

最近はお母さんがよく「夏休みになって大変だ！」といわれるのを聞きます。これは、子供たちが家にいるので、子供たちの面倒をみる必要があるからのようです。

学校に行っておれば、給食があるため、昼食を作る必要が無いこともひとつの理由のようです。

昔は、子供たちは朝から昼過ぎまで、友達と川や学校の校庭で、真っ黒くなって遊んでいたように思います。親は、直接面倒を見なくても、近くの田んぼで農作業をしているおじさん・おばさんが、そつと様子を見てくれたからよかったのだろうと思います。

川で泳ぎ疲れると、昼寝・・・畳の上に、大人・子供が並んで軒をかいていました。

夕方涼しくなると、また遊びに出かける・・・宿題の「夏休み帳」「自由研究」「絵」はいつやっていたのだろうか？

夜の蚊帳も楽しいものでした・・・蚊帳に入るコツは今でも覚えています。

現実に戻ると、今年もお盆が来る・・・田舎は旧盆であり、実家の掃除・お墓参りに今年も帰る予定です。また、雑草が歓迎してくれるでしょう・・・田舎の盆踊り・花火大会も、過疎のためだんだん寂しくなっているが・・・雑草だけはそれを補うように元気です。

しかし、1年に1回のお盆です・・・雑草を刈って、先祖に日頃のご無沙汰を詫びてきます。

気が付くと、昨日頃から蟬の声も一段と賑やかになりました・・・この夏も、暑さに負けないよう過ごしたいものです。

皆さんも、健康にはくれぐれも気を付けてください。

ちよつと早いかもしれませんが、

暑中お見舞い申し上げますー



真とは・・・？

2006.8.25

真とは・・・？

最近、デジカメラで撮った写真を、画像加工ソフトウェアを使って修正している時、「真とは何だろう？」と思うことがあります。

それは、自分が撮った写真を、チョット暗いから明るく修正する・・・もう少しコントラストを強く修正する・・・など、実際に自分の目に映ったことを思い出しながら、元に戻している積もりなのですが、本当はもう実際とは違うはずです。

さらに進むと、この風景に写っている電線は邪魔だから消す・・・さらには、人物だけ切り出し、行ったことも無い場所の写真に嵌め込む・・・これは、実際に自分の目に映ったこと

でなく、まったく実際とは（真とは・・・）異なったものになっているのです。

ここまでくると、実際であるはずの真とは・・・から大きくかけ離れ、自分の都合だけで見方を変え、他の人に真とは・・・これだと見せているに過ぎないのです。

このように実際のものに手を加えたものは、自分だけの楽しみにし、少なくともこれが「真」なことだけはやめておきたい。技術的には完璧でも、それは「真」ではないからです。

これだけ情報が飛び交う中であっても、「真」はその時々にならずにはいられません。

しかし、往々にして有名な人、強い人が、自分の考えで「真」に修正を加えたものがまかり通ることがたくさんあります。特

に、「真」が何であるか分からないことが多い今の世の中ではそうなり勝ちです。

どこかの総理大臣が「心の問題！」として、相手のことを気にすることなく振舞うのも、何か「真」を自分流に修正しているように見えるのです。

とにかく、「真とは・・・？」を常々心がけておきたいものです。

デジカメで撮った写真も、暗くても、明るすぎても原データは残しておくことにします。



冥王星はどう思う？

2006. 9. 10

「プラハで開かれていた国際天文学連合（IAU）の総会は24日、従来の太陽系惑星9個から冥王星を除外し、水星から海王星までの8個とする新しい定義の決議案を出席者の賛成多数で可決した。」

「なじみ深い“第9惑星”が格下げされる歴史的決定で、学術的な意味に加え、教科書の書き換えなど教育、文化の多方面に影響しそうだ。」

先月の後半、上記のような話がいろんなメディアに報じられた。

「格下げされる歴史的決定・・・」とか大騒ぎされながら、当

本人の冥王星の談話は何処にも見当たらなかった。

冥王星はどう思っているのだろうか？・・・当然、何も思っていない・・・それは、自分にはまったく関係ないことで、人間様が勝手に「ああだ、こうだ・・・」と言っているだけだからだ！呼名にしても、日本語では「冥王星」、英語では「Pluto（プルート）」と、自分勝手につけている・・・

冥王星は、人間様がなんと言おうと、宇宙の中をマイペースで進んでいるのである。

「教科書の書き換えなど教育、文化の多方面に影響しそうだ。」・・・もし大げさすぎるようだ。

困るのは、入学の篩いにかけられる受験者ではないだろうか？今の僕にはどうでもよい・・・

最近、このように自分には関係ないことが、自分以外のところで大騒ぎされ、それがTVの時間稼ぎや新聞の紙面を埋めこただけの報道のように思われることが多い。それでなくても、見聞きする情報が多すぎ、脳味噌の栄養として消化しきれない事態に陥っている。

できれば、情報の洪水に吞まれないように、日頃の情報を、生活に役立つもの役立たないものに整理したいものである。同時に、身の回りのもの・・・ゴミ箱がすぐ一杯になるかな！



子供たちは忙しい・・・

2006. 9. 25

過日、町内の小学校5年生の総合学習の「インターネット調べと発表」という授業にITクラブ員としてお手伝いをしました。その時感じたことですが・・・

授業の内容は、パソコンを使って、「環境」というテーマについて、数人の班で自分たちで考えた事項について、インターネットでキーワードを使い調べ、それを発表のソフトを使って纏め、班ごとに発表するものでした。

「環境」というテーマは、国語の授業に関係したもののようです・・・なぜ「環境」が国語の授業なのかはチョット分かり

ません・・・が、子供たちはそれぞれ「環境」のテーマを選んでいました。テーマは、「CO₂と環境」「リサイクルとリデュース」「江戸時代とリサイクル」「山のゴミ」など、大人でもすぐには思い浮かばないようなユニークで面白いものがたくさんありました。

これらテーマは、事前に考え予習をしてきていたようですが、今回の授業は各クラス180分で、インターネットを使って調べ、内容をまとめ、発表をするといった非常に時間的に忙しいものでした。

しかし、先生たちの指導の下での事前の準備、子供たちのゲーム感覚のパソコン操作、班としてのお互いの助け合いといったことで時間内に想像以上の発表を行っていました。

これを通して感じたことは、**子供たちは忙しい…、先生も忙しい…**といったことです。

この授業だけで判断するのは間違いかもしれないが、もう少し子供たちにジックリ考えさせる時間が必要のように感じました。

特に、インターネットで調べるといふんなことが分かるが、それらを写し資料にして発表だけでは、子供たちが本当に内容を理解したかどうか心配です。

しかし、心配は無用と思う場面もありました・・・それは、パソコンの電源を早く入れようとした友達に、「電気がもつたいないから、まだ入れない方がよいよ！」の声があった時・・・

・ある班が、自分の発表の内容について、「これをどう思いますか？」と聞いている友達に問い掛けた時・・・

子供たちは、この授業時間が終わると、「次は理科だ!」、「給食だ!」と急いで自分の教室に戻って行きました。

やはり、子供たちは忙しい…



俳句

2006.10.10

俳句・・・このホームページを始めた頃、いやその前のパソコン通信のフォーラムに参加していた頃から、時々思いついたように詠んでいた・・・でなく、落書きをしていました。

俳句は独学・・・といえば格好良いが、習ったこともなく本を読んだこともないのですが、高校の頃、芭蕉の「**奥の細道**」を習ってから、なんだか興味を持っていたので、時に落書きを試みているのです。

したがって、**俳句**は、指折り数え五・七・五の十七文字で書くもの、季節感を出した方がいらいしか知らないのです。

最近になって、もう一つこの落書きを後押ししたのが、ブログ

グでした。

それは、以前~~三~~の趣味悠々の「ブログ」の番組で、携帯電話から写真をアップし、同時に**句**を投稿している方の紹介を聞いたのです。

携帯電話のキーを押すのが苦手でも、十七文字くらいは押せらるろう・・・と！

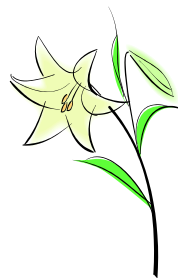
俳句になっっているかどうかは別にし、ブログなどにアップする写真に十七文字をつけるのは、単に題目を付けるだけよりも面白い。

また、**俳句**には**季語**が必要と聞いているので、時々季節の単語を探すのも面白い・・・

こんなことで、また落書きをしてみています。
何か感じた単語をメモし、指折り数えて並び替える・・・いい頭の体操になります。
脳味噌の硬化を少しでも予防するため、それこそ気の向くまま、思いつくままに、指折り運動をしてみます。

秋の夜は本も読まずに折る

指折りに首を傾げる秋の虫



病んで知る世の広さ

2006.12.10

10月中旬より約1ヶ月半、胆のう結石その他の治療で物心がついてはじめて入院生活を送りました。

腹痛で緊急入院した後、検査、手術、術後のフォローの日々でしたが、その間、日頃気付かなかったいろいろな経験をしました。

その一つが、休日夜の緊急外来にもかかわらず、初期診断から外科医の応急処置、数日間の各種検査、手術、術後のフォローについて、どのような体制になっているかは解からなかったが、一言で言えば非常にスムーズでした。

次に感心したのが、日夜を問わない看護師さん達の笑顔での

対応です。

点滴のチェック、体温・血圧などの測定、術後の移動のサポートなどなど、あちこちから声が掛かり忙しいにもかかわらず、常に笑顔と会話で対応していただいたことは、人との対応、弱者への対応といったことで非常に勉強になりました。

もう一つ気付いたのは、病院には中高年者が多いことです。日頃想像はしていたが、自分が実際に入院してみても周囲を見たときにつくづくそう感じました。

歳をとると、身体のアチコチにガタが来るのはやむをいないとは思いますが、出来れば日頃健康に気をつけ、できるだけ病院のお世話にならないように気を付けたいと感じました。

上記のようなことは、自分では健康と思って暮らしている日

頃の生活では想像の域を出ない知識ですが、自分がその場に入り見聞きすると、実に自分の知識が如何に狭いかを知りました。

とにかく、日頃の生活が如何に井戸の中の蛙的だったかを知った約1ヶ月半でした。

このような経験を忘れることなく、さらに多くの知らないことがあることを気に留めながら、日々を送りたいと思う次第です。

病院の皆さんありがとうございました！



年の暮れ

2006.12.25

2006年も後7日で終わります。

毎年のことですが、この時期の更新では、この一年を振り返り**独り言**を呟いております。

今年1年も、例年のように生涯学習ボランティア、パソコン講習会への参加などマイペースの日々を送ってきました。

例外としては、10月の後半胆石治療のため、生まれてはじめて入院の経験をしたことです。

入院と言えばなんだかマイナス指向の気がしますが、僕にとっては前回の**独り言**でも呟いたように、井戸の中の蛙も少し井戸端会議に参加させてもらったようなプラス指向であったよう

に思っています。

この1年、総理が代わる、教育基本法が変わるなどいろいろな面で代わっているようですが、子どものいじめ・自殺などなどマイナス面が解決されないまま年を越すようです。

お年寄りの政治家の口先だけが先行し、裏では国民の意見を聞く場であるはずのタウンミーティングがサクラ満開であったとか・・・これを決まりだといって給与の返済で片付けようとする政治家たちは、子どもにどう説明するのだろうか・・・こんな疑問が解けないままに除夜の鐘を聞くことになります。

ボランティアで子ども達と接することがある僕にとっては残念なことです。

しかし、僕が接する子ども達は、子どもらしい子ども達がほと

んどです。

挨拶はよくしてくれます。話はよく聞いてくれます。多少時間が長くなると緊張感が解け、チョット元氣すぎ落ち着かなくなることがありますが、それはこちらの時間コントロールが拙いからかもしれません。

とにかく、自分も子どもを経験したのです。いじめられる子、いじめる子もありました。

それらを大人たちは、自分達の経験を生かし、大きな視線で見守り指導してくれたのです。

過去は過去・・・反省することは反省し、新しい年を迎えたものです。

「老いれば子どもに従え！」ではないが自分が子どもであった

頃を思い出しながら、子どもの頃出来なかったことを、今の子ども達と共に楽しみたいと思っております。

いろいろお世話になった方々に感謝すると共に、来る年もよろしく願っています！

皆さん、良いお年をお迎えください...

